

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2011

課題番号：19720206

研究課題名（和文） ベトナム考古学データベースの構築

研究課題名（英文） Making of Vietnamese archeology data base

研究代表者

阿部 百里子（ABE YURIKO）

昭和女子大学・国際文化研究所・研究員

研究者番号：50445615

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・考古学

キーワード：考古学、ベトナム、データベース、遺跡、情報、国際情報交換

## 1. 研究計画の概要

本研究の目的は、ベトナムの原始から近世にかけての遺跡・遺物の情報を集成したベトナム考古学データベースの構築にある。ベトナムは古くから東西交易の要衝として中国や日本、西方地域などの東西の文物が流入し、アジア各地の文化要素を取り込んできた。ベトナムの考古資料の研究は、ベトナム一国の研究に留まらず、アジア全体の文化現象の解明に寄与するものである。

(1)本研究では、これまでに確認されているベトナムの考古遺跡に関する資料を収集し、文献リストや遺物・遺跡に関する基本的な情報をデータベース化する。

(2)さらに、各遺跡の位置情報や映像、関連史料や歴史資料などをデジタル化し、データベースと統合することで、ベトナム調査・研究の足がかりとなるベトナム考古学データベースを構築する。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 『Nghien cuu Lich su (歴史研究)』や

『Khao Co Hoc (考古学)、遺跡調査報告書の『Nhunh Phat Hien Moi Ve Khao Co Hoc Nam ~ (ベトナム考古学年報)』などのベトナム考古学関連の遺跡の調査報告や研究論文、図書、資料集を収集した。そして、『Nghien cuu Lich su』に関しては、論文名、著者、発行年、巻号をベトナム語と英語で入力し、総目次を作成している。『Nhunh Phat Hien Moi Ve Khao Co Hoc Nam ~』に関しては、報告論題名（報告遺跡の所在地含む）、著者（所属含む）、ページ、発表年などをベトナム語で入力し総目次を作成している。なお、ベトナム語が入力できないパソコンからでも検索ができるよう、ベトナム語はすべて、声調記号を付けたものと、付けていないもの、二通り入力している。

(2)上記の総目次を活用して、銅銭データベースを作成した。ベトナムで出土した銅銭に関する報告や研究論文を抽出し、出土地、銭種、枚数、年代、遺跡の種類、出土状況、関連文献などの基本情報をデータベース化したもので、現在もそのデータ数を増加させている。

(3)ベトナムや台湾、日本において、ベトナム考古学関連資料の収集をおこなった。特に、台湾では、ベトナム考古学の専門家がいなかったため、これまで報告されていなかった資料について情報得ることができた。

(4)データベースの情報を充実させるため、ベトナム人研究者の協力を得て、データベースに組み込む考古資料画像を収集するとともにデジタル化した。

### 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

ベトナム考古学の基本的な情報を得ることができる学術雑誌について、文献の総目次を作成することができた。これは、データベース作成における基礎的作業であり、この総目次を活用することで、遺跡・遺物にかんする情報の抽出が可能となる。なお、この総目次を応用し、手始めとして、銅銭データベースを作成することができた。

### 4. 今後の研究の推進方策

(1)引き続き、ベトナム考古学関連の遺跡の調査報告や研究論文を収集し、ベトナム語(声調記号有)と英語の目次を2009年刊行分まで作成する。

(2)ベトナム考古学遺跡・遺物に関するデータベースの種類を増やす。港市遺跡データベース、貿易陶磁器データベースなど。

(3)作成したデータベースに位置情報やデジタル画像などを張り込み、情報を充実させる。

(4)web上で公開できるようにし、研究者が情報を共有することを目指す。

### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

①阿部百里子、ベトナムの貿易港と日本町、考古学ジャーナル、579、31-36、2008、査読無

②阿部百里子、ベトナムにおける銭貨研究史、昭和女子大学国際文化研究所紀要、12、151-154、2008、査読有

③阿部百里子、ベトナム出土の貿易陶磁器、貿易陶磁研究、27、76-81、2007、査読有